elcometer

Elcometer 122 Testex®レプリカテープ取扱説明書

TESTEXテープについて
Elcometer 122 Testex®テープは、非圧縮性の裏地にフォームが付いたテープです。表面の凹凸の型を取るのに使用します。この説明書には、次の種類のTestexテープの使い方が記載されています:

コード番号（1巻入り）	説明	測定範囲
E122----A1	Elcometer 122 Coarse Minus (コースマイナス)	12 ~ 25µm (0.5 ~ 1mil)
E122----B1	Elcometer 122 Coarse （標準的な面粗度用）	20 ~ 64µm (0.8 ~ 2.5mils)
E122----C1	Elcometer 122 X-Coarse （高い面粗度用	38 ~ 115µm (1.5 ~ 4.5mils)
E122----F1	Elcometer 122 Coarse Plus （非常に高い面粗度用）	116 ~ 127µm (4.6 ~ 5.0mils)

大量一括注文も承っています。詳しくは、Elcometerまでお問い合わせください。

適合規格
Elcometer 122 Testexテープは、次の国際規格および国内規格に適合しています:
ASTM D 4417-C、BS 7079-C5（国際規格によって置き換えられます)、ISO 8503-5、NACE RP0287、米国海軍NSI 009-32、 米国海軍PPI 63101-000

使用方法
1. テープの1回分を切り取り、裏側の紙をはがします。この紙は、後で使えるように残しておいてください。
2. 試験面にテープを貼り付け、付属しているこすりつけ棒か、先端の丸い棒（ペンや鉛筆など）で、テープの中央の部分が黒くなるまでこすりつけます。これで、試験面の凹凸がテープに写し取られます。
3. Elcometer 124シックネスゲージかマイクロメーターで、テープの中央の部分の厚さを測り、測定値から50µm (2mil) 差し引きます。この値が、表面の山から谷までの深さになります。テープにこの値を書き込みます。
4. 手順1ではがした紙を元通り貼り付け、試験面の型の記録として保管します。

Elcometer 122 CoarseテープとX-Coarseテープは、60°C（140°F）以上の環境で正確な測定値が得られるように変更されています。

この変更により、2つのテープの測定範囲が重なっている部分が影響を受けるため、測定方法も変わっています。

一方のテープで得られた値が、38～64µm（ 1.5～2.5mil ）の場合は、もう一方のテープで同じ場所を測定します。
両方のテープの測定結果が38～64µm（ 1.5～2.5mil ）になつた場合は、その平均値が山から谷の深さであると判断してください。2番目のテープの測定値がこの範囲外になつた場合は、その値を採用し、1番目の値（ 範囲内 ）は無視してください。

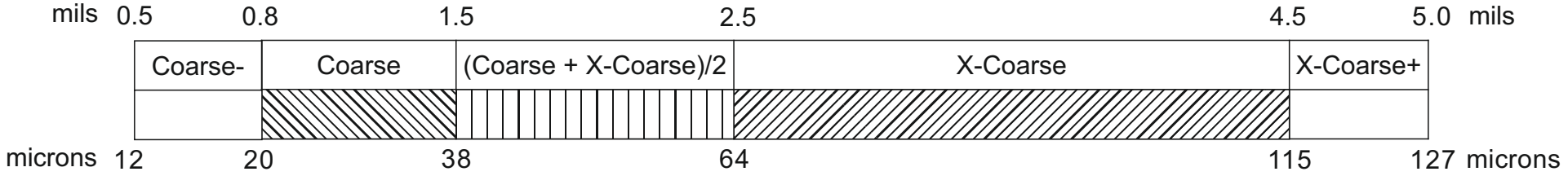

図1。テープのレンジイラスト

斜線の部分は、CoarseテープとX-Coarseテープの固有の測定範囲を示します。

上記の変更は、CoarseテープとX-Coarseテープで得られた20～115µm（ 0.8～4.5mil ）の値と、他の方法で測定した値の適合性を上げるためです。

elcometer Elcometer Limitedの登録商標です。所在地：Edge Lane, Manchester, M43 6BU. United Kingdom
© Elcometer Limited 2010-2014. All rights reserved. この文書の一部または全部を、Elcometer Limitedの事前の書面による許可なく、いかなる形式や方法によっても、複製、転送、保管（検索可能なシステムかどうかを問わず）、または他の言語に翻訳することを禁じます。

TMA-0486-12 第02版 本文と表紙番号：22500-12